



新潟市立潟東中学校 学校だより

令和4年6月17日(金)第6号

希 望 橋

教育目標 豊かな心を持ち たくましく伸びる生徒

電話 0256-86-3007

授業参観

6月15日(水)

市内大会激励会にあわせて、コロナ禍のため、しばらく中止していた「授業参観」を行いました。1・3年生は、人数が多いため、密を避けるために広い場所に移動して授業しました。また、3年生は、これに合わせて「進路学習会」を実施しました。令和5年度入試(公立・私立)の仕組みや流れについて、親子で聞く良い機会となりました。



1年1組「英語」



3年1組「進路学習会」



2年1組「数学」



2年2組「社会」

◆「弁当の日」6月13日(月)

みんなで、おいしいお弁当を食べました。きちんと振り返りもしました。「食べることは生きること」です。今後活かしましょう。



新潟市中学校体育大会 激励会

6月15日(水)

授業参観に引き続き、たくさんの保護者の方から参観していただきました。子どもたちの力になったと思います。ありがとうございました。来週からの大会に臨むに当たって、次の2つのことを心掛けてください。

◆1つ目は『心を一にする』

選手・控え・応援、みんなの心が一つになったとき、チームは思いがけない大きな力を発揮するものです。個人種目でも同じように、不安なとき、苦境に立たされたとき、人との心のつながりが勇気と前に進む力になります。コロナ感染予防のため、応援が規制されている種目もあると思いますが、できる範囲で声を掛け合い、励まし合い、心と心がつながる大会にしてください。声が出せなければ、「アイコンタクト」だけでも十分です。仲間に心は伝わります。

◆2つ目は『精一杯』

大会ですから、そこに勝ち負けがあります。勝ち進むことは立派で、その結果を導いた努力は大いに賞賛すべきです。同時に、勝つことと同じくらい、またはそれ以上に価値があるのは、その試合、その瞬間に、どれだけ自分の「精一杯」を出し切れるかです。対戦相手がどんなに強くても、弱くても、大差で勝っていても、負けていても、おごらず、くじけず、あきらめずに、自分もてる「精一杯」を最後の最後まで出し切る大会にしてください。最後は、精神力の勝負です。

チームの仲間と心を一にする、自分の精一杯を出し切れる、最高の大会にしましょう。



野 球 部



男子バスケットボール部



女子バレーボール部



女子卓球部



柔 道 部



剣 道 部



男子卓球



生徒会長の話



激励の拍手